

第2部 基本構想

第1章 みやま市の将来像

1 まちづくりの将来像

将来像は、今後の本市におけるまちづくりの方向性や目指す姿を明らかにするもので、「住んでみたい」「住み続けたい」と思えるみやま市を、行政と市民が共につくっていくための共通の目標です。

みやま市は、「人」を主役として、本市の持つ「水」や「緑」を中心とした豊かな地域資源を生かし、磨き上げ、協働の理念に基づいた豊かなまちづくりを進めてきました。こうした魅力を受け継ぎつつ、市全体が更なる活力をつくりだしていくためにも、将来像を以下のように定めます。

人と自然が共に育み、つながり、成長し続けるまち

みんなに やさしい まち みやま

2 基本理念

■人と自然が共に育み続けるまち

みやま市の主役である「人」と、みやま市の特徴である清水山をはじめとした山々や有明海に注ぐ矢部川などの豊かな「自然」とが共に育んでいくことで、将来の世代の暮らしが輝くような持続可能なまちづくりを目指します。

■人と地域がつながり続けるまち

みやま市には、これまで受け継がれてきた歴史や素晴らしい伝統文化があります。これらを継承するとともに、「人」と「人」とのつながり、「人」と「地域」のつながりを大切にし、新たなつながりを創出することで、子どもから高齢者まで、みんながやすらげる、笑顔あふれるまちづくりを目指します。

■人とまちが成長し続けるまち

平成19年の合併によりみやま市が誕生してから10年以上が経過しています。こうした中で、「人」を核として、さまざまな地域課題の解決や、本市の発展に向けた新たな挑戦を行っていくことで、豊かな人材の育成や産業の発展など、市が一丸となって成長し続けるまちづくりを目指します。



3 将来推計人口

1 みやま市人口ビジョンに示された将来推計人口

(1) 将来推計人口の考え方

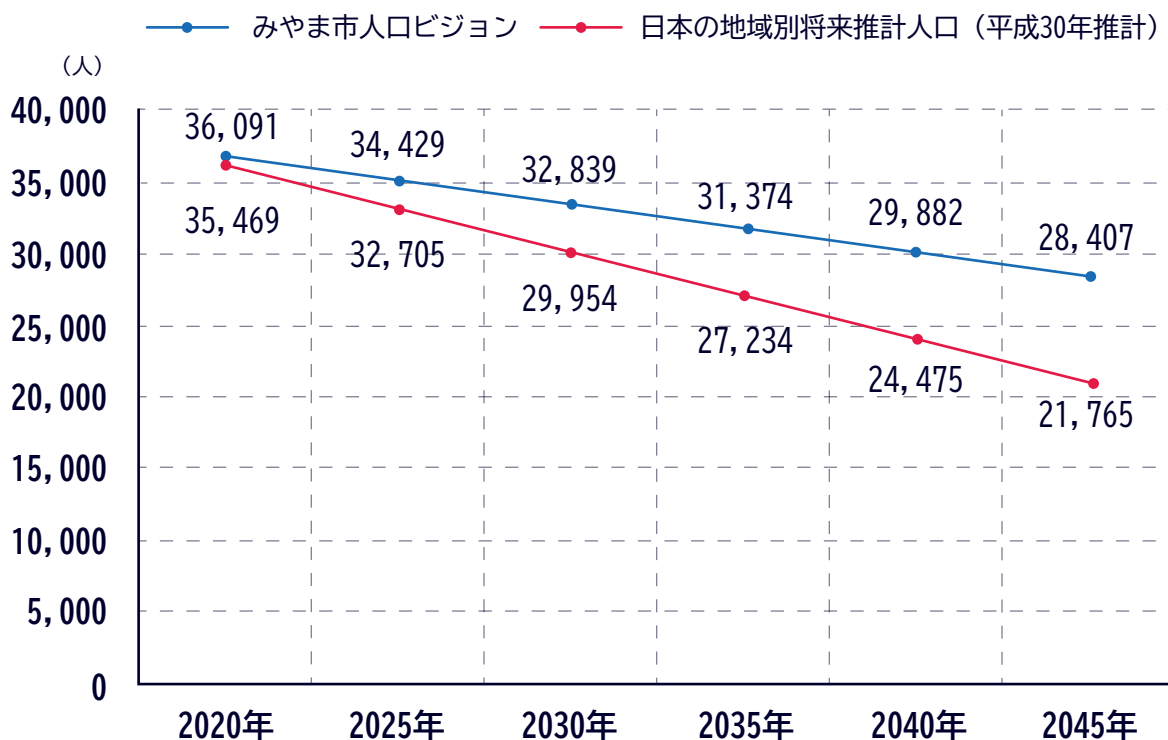
我が国は、急速に進行する人口減少・少子高齢化問題に対応するため、平成26年12月に、国と地方が総力を挙げて地方創生*・人口減少克服に取り組む上での指針となる「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び、地方創生のための施策の基本的方向や具体的な施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略*」を閣議決定しました。

こうした流れを受けて、本市においても、平成27年10月に「みやま市人口ビジョン」及び「みやま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、2060年までの人口の将来展望を示しています。

この「みやま市人口ビジョン」では、国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の推計に準拠し、人口減少対策として①合計特殊出生率*の上昇、②雇用の場の確保による若い世代の人口流出抑制、③子育て世代の転出抑制と転入促進に取り組んでいくことを考慮して、将来人口を推計しました。

その結果、2045年に総人口が28,407人になると見込み、国立社会保障・人口問題研究所の推計による21,765人より6,642人以上増加することを目指しています。

図表「みやま市人口ビジョン」と「日本の地域別将来推計人口
(平成30年推計)」の将来推計人口比較



資料：みやま市人口ビジョン、日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）

第2章 基本方針

1 総合計画の体系

本計画では、将来像の実現に向けて以下のような体系を定めます。

図表 施策体系

